

令和元年度 おかさきこども園 事業報告
 <園児数>

	0歳児	1歳児	2歳児	合計		3歳児	4歳児	5歳児	計	合計
4/1 (人)	6	17	25	48	4/1 1号	26	28	29	83	131
3/1 (人)	13	20	25	58	3/1 1号	2	1		3	3
					3/1 1号	25	28	28	81	139
						3	1	1	5	5

令和元年、入園充足率 110.6%でした。昨年度と比較し、低年齢児の入園について、後半に職員配置に余裕がなく、結果数人少ない受け入れになりました。人材確保の厳しい現状と退職者を出さないようにするための職場環境づくりの課題が見えました。保育の質の向上の内容を見直し、みんなで作り上げていく姿勢を見せなければとを考えます。

また、今年度は、湖西市からの補助金減（地域活動交流金、子育て相談金）があり、修繕が重なりました。そして、10月から幼児無償化になり、人件費と経常経費のバランスが難しく、確認しながら支出等、経過を伺っていきましたが、結果資金収支差額がマイナス経常になりました。今後、予算の根拠を見直し、予算超過等の明確化見直しに努めていかなければならないと思います。

<職員数>

	園長	主幹	副主幹	保育教諭	保育士	栄養士	調理師	事務	用務	高齢	学童	計
R元 正規	1	1	2	15		1	2	1			1	24
非常勤				3			1					4
パート				5	2		1	1	1	1	6	17
R2 正規	1	2	2	13		1	2	1			1	23
非常勤				4			1				1	6
パート				4	2		1	1	1	1	5	15

◆3月末退職：正規職員2名 パート職員1名 異動1名

<苦情>

ありませんでした。

<事故>

重大事故なし 受診事故12件（打撲、切傷等）

<保育教育の理念>

『子どもの育ちを支える保育』

<保育教育目標>

「笑顔で、楽しく元気で健康な子ども」

「ともだちと仲よく遊ぶ子ども」

「感じたり、考えたり、工夫したりして、やりぬく子ども」

<重点目標>

①こどもを中心とした関わりを大切にして、保育の質を高め合う。

- ・積極的に園内研修を中心に、自分達の行っている保育の見直し、振り返りをしたが、次に活かすこと継続することが出来なかった。
- ・グループワークをして意見を出し、コミュニケーションをとる事ができた。
- ・月1回の療育相談で、子どもの姿を相談し、援助方法につなげることができた。
- ・新人が多いので、出来るだけ分かりやすく丁寧に説明したり、新人のマニュアルが作成できた。

②家庭連携と保育のつながりを見える化していく。

- ・HP、掲示で子どもの様子を伝えた。保護者からも楽しみにしているとの感想があった。
- ・キッズリーの利用（掲示、お便りの内容一部ををメールで配信する。）をしたが、保護者アンケートでもっと利用してほしいという意見が多かった。お便り等保護者に対してのお知らせ方法を今後も模索していく。
- ・個人面談で保護者とたくさん話す機会を設け、子どもの成長を共有できた。

③研修を活かして組織づくりをする。働きやすい職場づくり

- ・ノンコンタクトタイムの実施を行った。持ち帰りの仕事をなくすようにしたが、人によって個人記録が終わらない結果になった。
- ・時間外の管理、キッズリーダーと確認することができた。

④子育て活動の支援と地域のつながりをもつ。

- ・おささま広場、こども食堂、ぴよぴよからの育児相談 園見学の増加がみられた。
- ・光湖苑お年寄りとの交流や自治会との交流ができた。

法人として	重点目標	事業計画	事業報告
<p>1. 保育サービスの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認定こども園教育保育要項に沿った保育・教育の実践 ○国、県市への方針等の環境に報じた園の経営 ○行政に向けたタイムリーな情報発信 ○保護者への積極的な子育て支援 ○保育環境の整備 ○環境を守る取り組み 	<p>①子どもを中心とした関わりを大切にして、保育の質を高め合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもとの関わりを振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・エピソード記述のグループワークを継続させ、保育の過程を大切にしながら、一人ひとりの保育実践を振り返る。 ・子どもの姿を語り合い、保育の姿勢について振り返りを行う。 ・子どもの思いに耳を傾け、子どもに寄り添う保育を行う。 ・自分でやってみたいという意欲とやりぬくを大切にする保育教育の実施を具体化し、学びを共有していく。 ●気になる子、発達障害のある子に対するの 援助を考える。公認心理士エキスパートの活用 ●うつぶせ寝や感染症等に対する安全対策 ○記録用紙を活かす方法 実践保育 <ul style="list-style-type: none"> ・3つの柱、10の姿を意識した記録用紙を使用、実践の具体化を図る。 ・養護と教育を実践につなげる。 ・生活の環境、遊びの環境を考える。 ・保護者との関わりを学び、職員共有していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修でエピソードのグループワークが計画通りできなかった。子どもの姿、職員の行動から養護教育について記録していくことはできた。 ↓ ・新人にわかりやすく説明することができた。また会議等で新人の困り感の意見を出してもらいみんなで考えることができた。 ・月1回の療育相談、クラスの気になる子の行動等を分析してもらい、援助方法を考える。 ↓ ・職員の相談する環境ができた。 ・記録にして職員の共有ができた。
	<p>②家庭連携と保育のつながりを見える化していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者への積極的な子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子日記 ・保護者懇談会 ・お誕生会の保育参加 ・行事参加のお手伝い ・父親への働きかけ・・・パパの会 ・気になる子どもの様子について保護者が相談する機会を設ける。 ・個人面談と就学への継続支援 ・栄養士等の専門的相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとの個人面談の実施できた。全員でないので、希望しない家庭は今後どうしていくか課題となった。 ・お誕生会の方法を個人ごと家庭ごとに変更定着し多くの家庭が参加してくれた。

		<ul style="list-style-type: none"> ○保育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが遊びに集中できる空間づくり ・給食室の食品庫整理 ・花など季節感の空間作り ●異年齢活動「わくわく」の充実 ○HPの改革 <ul style="list-style-type: none"> ・見やすい活用しやすいHPへ ・ブログこどものエピソードを伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくのグループ作りから遊びに展開することができた。 ・ブログをのせるのがが遅い。 →月ごと、乳児と幼児を分けることにしてスムーズになった。事務の協力が得られた。
<p>2. 職員の確保・人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○働きやすい環境づくり、待遇の改善 ○計画的な研修 ○採用関係等对象的にタイムリーな情報発信 	<p>③研修を活かし、組織づくりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○合同就職説明会への参加 男性職員を増やす ●新人研修の計画的な予定を考え定期的な会議、職員のローテーションを考える。 ●ノーコンタクトの活用 ・持ち帰り仕事の減少時間の取り方改革 ○目標管理シートの活用 ・チューター制度を積極的に進めていく。 ○マニュアル、係の仕事の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・防犯防災対策の再確認 ・市野与進こども園との情報交換研修 ●積極的な新人採用活動 <ul style="list-style-type: none"> ・新人職員からの情報交換 ○中堅リーダー、研修委員会が中心となり、園内研修を積極的に行う。 ○処遇改善・計画的なキャリアアップ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・合同就職説明会参加 ・新人研修（園内）を実施 ・1日一人ノンコンタクトタイムが取れる配置係の仕事をしったり記録等の時間に使用している。 ・マニュアルを見直すまでに至っていない。 ・園内研修で、キャリアアップ研修の報告を行うことで共有をはかった。
<p>3. 地域への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域における公益的な取り組み」を含む地域貢献活動の充実 ○地域に対するタイムリーな情報発信 ○環境を守る取り組み 	<p>④子育て活動の支援と地域のつながりをもつ。</p> <p>※一時預り事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○びよびよクラブの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士等の専門的相談 ・離乳職教室 ※緊急等一時預り事業を通して子育て支援 ○地域交流 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会いきいきサロン ・お年寄りとの継続交流 ・お祭など地域行事への鼓隊参加 ・蛍の放流・畑体験 ○おひさま広場でふれあいあそび、 ・こどもの居場所づくり ○こども食堂 ボランティア活動 ○園庭芝生緑化、 ・花壇 畑の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・うんどう会で鼓隊演奏をやめ、地域参加だけにした。 ・自治会交流と隣接の老人ホームの交流が継続的に行うことができた。 ・おひさま広場で親子のふれあい遊びをひろうできた。参加人数も増加した。3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。
<p>4. 法人、事業基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営の把握と無駄の排除 	<ul style="list-style-type: none"> ○節電 ・ 昨年の電気料より下げる工夫を 	<ul style="list-style-type: none"> ・キロワットが71kW→68kWに下がり全体の 	

<p>○生産性の向上のために積極的にICTを取り入れる 経営状況を適切に把握し、中期事業計画を策定する。 （人員と設備備品の予算根拠の明確化とその実行管理）</p>	<p>する。 ○経営の把握（収入支出のバランス）しながら購入を考える。 ●経営状況を適切に把握し、中期事業計画を策定する。 （人員と設備備品の予算根拠の明確化とその実行管理）</p>	<p>電気料が減った。 ・修繕に費用がかかるり補正を組んだ。（厨房関係）</p>
--	--	---